

宮崎ロータリークラブ週報



2023-2024 Theme

no. 28 | 発行 | 2024年2月6日 | 担当 | 藤枝 浩

■ 前回の例会記録

第3414回 2024年1月30日(火)

【新会員卓話】
NHK宮崎放送局
局長 原 淳 会員
(株)SYSKEN
宮崎支店長 本田 久士 会員

出席状況報告

会員数(名誉会員2名を除く)	105名
例会出席会員数	71名
同上出席率	68.93%

■ 今回の例会予定

第3415回 2024年2月6日(火)

【「持ち味」を知る・学ぶ委員会】
大園 匡 委員長

* 誕生日祝・結婚記念日祝(親睦委員会)

■ 次回の例会予定

第3416回 2024年2月13日(火)

【ゲスト卓話】
ヴィアマテラス宮崎 代表 秋本 範子 様
「ヴィアマテラス宮崎の挑戦
～これまでとこれから～」

■ 幹事報告

- 配布物
・週報No.27

報告 告知

- 報告
・職業奉仕賞について
・理事会報告

- 告知
・能登半島支援寄付金について

■ ゲスト・ビジター会員



職業奉仕賞選考委員
フルート奏者 宮崎県立芸術劇場
桐原 直子 様



東京東大和ロータリーRC
高木 裕 様



■ 退会挨拶



JTB 宮崎支店 支店長
井上 康 会員

■ 会長の時間



会長挨拶

岡本 俊則 会長

皆様こんにちは、本日は先程まで一階の選考会場におきまして第61回職業奉仕賞の選考会が行われ無事に候補者の方が確定を致しました。桐原先生におかれましてはお忙しい中ご参加、ご協力を賜りまして誠に有り難うございます。今後は3月5日に行われます同賞の贈呈式に向け準備を進めて参ります。

さて、会長の卓話は先週の話の続きから再開をさせていただきます。



中一で初めて手にしたマイギターと中二の夏休みに解散してしまったフォークユニット、そしてビートルズへの傾倒と新たな仲間により、これから先はそれまでのフォークとは全く違う世界が広がっていきました。と言うところからです。

◇初めて手にしたギター(画像)サイド、バック、指板、がローズウッド。ワシントン条約で輸出入が規制され輸出入が規制されてからは手に入りにくい材料。(特にブラジリアン)50年前のこの材料だと人気のあるモデルでは数百万円の値を付けている個体も少なくない。◇でも自分のギターと同じものは今まで一本たりとも見たことがない。人気なし。

新しい仲間は丁度4人、正にビートルズと同じ人数、ここで起きそう

で起きないことが起こります。各パートの奪い合いです。皆さん絶対に起きると思いますでしょうか?これが不思議と起きなかったのです。私は大好きだったポールマッカートニーの影響からバンドではベースを選びました。そして一人はドラム一筋で、当然ドラム(この男は初志貫徹で日本のトッププロとして現在もJAZZ会で活躍しています)を選択。残り二人は当初からギターを希望、その技量からリード・サイドも自然に確定、何の争いもなくきっちりと鞘に収まりました。これからバンド活動開始です、四人の理想は相当高く市内の中学では一番になると言う目標を掲げ練習に励む毎日、週末の合同練習に向け平日は個人練習、しかも四人中三人は体育部に所属、一人は親が厳しく週3回の塾通いと皆なかなかのハードワークな毎日でした。しかも中学生なのでお金があるはずも楽器店のスタジオでの練習は三ヶ月に一度が関の山(これを本番と呼んでいた)、あとは神宮や権現町の公民館を借りての練習でした。小遣いを出し合いリヤカーを買い、アンプやドラム、楽器を自力で運搬しセッティング、終了後の掃除の時間、帰りの運搬まで含めるとほんの少ししか音合わせは出来ませんでしたがとても有意義な楽しい時間だった。

練習を始めたばかりの頃は公民館の近所からの苦情がありいつも“嫌な面”をしていた管理のおじさん”も、最後の方は「今日は10人ぐらいお客さんが見に来ていたよ」とか、笑顔で話してくれるようになっていました。やはり、サウンドがまとまると雑音ではなくなることでしょ(笑)

バンドとしては良い感じでもとまりながらも“あっ!間に”中学は卒業を迎えることとなります。中学最後に神宮公民館で開催した卒業お別れコンサートは満員で立ち見まででした。もちろん友達ばかりでしたが、その光景は今も鮮明に覚えています。

この後、高校から私の本格的なギター人生はまた来週お話しします。今日のところはこの辺で終わります。ご清聴有り難うございました。

■ 新会員卓話



新会員卓話

NHK宮崎放送局 局長
原 淳 会員

こんにちは、NHK宮崎放送局の原です。きょうは、貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。お役に立てるか分かりませんが、ここ最近のお話と、私がこれまでどんな番組を作ってきたか、という話を申し上げたいと思います。

【能登半島地震から1カ月】

まずは、正月に発生しました、能登半島地震です。間もなく1カ月になります。

230人を超える犠牲者と、いまだ安否が分からない方がいて、そして多くの方が避難生活を余儀なくされています。心からご冥福をお祈りしますとともに、お見舞いを申し上げたいと思います。

この地震と宮崎放送局とのかわりについて、ご紹介させていただきます。

地震が発生したのは1月1日、午後4時10分。最大震度7を記録しました。このとき、宮崎放送局所属の女性記者が、休暇で石川県内にいました。発災後、すぐに金沢放送局と連絡を取り、能登半島の付け根にある七尾市に向かいました。そして、その日の深夜には、現地から生中継レポートをしました。その後も、3日は半島の先端にある珠洲市に移動し被害や避難所の状況取材しました。この記者によりまずと、予想以上に道路の被害が大きく、安全を確認しながらの移動が大変だったと話しています。そして、被害の状況を目の当たりにして大きな衝撃を受けたと報告してくれました。

現在、全国のNHKから金沢放送局へ応援者が入っていて、まさに全局態勢で放送をお伝えしています。宮崎局からも、交代で週に1名を現地に派遣しています。今朝は、堀井アナウンサーが、被害を受けたお米の保管倉庫から生中継をしました。こうした応援に入った職員には、宮崎に戻った後、その経験をぜひ共有してもらおうとしています。局内はもちろんですが、宮崎の視聴者に皆さんにも、分かりやすい形で報告をさせていただこうと考えています。

発生から1カ月がたつ今では、「ライフライン放送」が中心となっています。給水場所や充電できる場所、ごみ収集の時間と場所、救援物資の情報など、生活情報を集めてお伝えしています。実は、石川県向けの地域放送を、BS3チャンネルで放送しています。能登半島にあるテレビ中継所周辺が被害を受けたため、地上放送をご覧になれない地域があるためです。なので、宮崎でもBS3でどのような情報を地域にお伝えしているか見られますので、是非、一度ご覧いただければと思います。

今回の地震を、宮崎ではどのように受け止めたいのか、先日、京都大学防災研究所の山下先生にお越しいただき、夕方ニュースでお伝えいたしました。南海トラフ巨大地震は、いつ発生してもおかしくないとされています。その被害想定は、ご覧の通り、想像を絶する数字が並んでいます。山下先生は、放送の中で、「地震のリスクはどこにいてもある。いま、能登で起きていることを自分にあてはめて、どう備えたいのか、この機会にぜひ考えてほしい。いまから行動に移してください。」と話されていました。視聴者の皆さんがいかに自分事としてとらえることができるか、この点に注力していきたいと思えます。

能登半島地震で話題となったのが、発生直後、山内泉アナウンサーが避難を呼びかけた様子でした。私は、そのとき、宮崎から羽田に向かう飛行機の中にいましたので、この呼びかけを聞いていません。実際にご覧になったロータリアンの方に聞きましたら、「アナウンサーの実況というよりも、近所の人が「逃げろ」と叫んでいるような印象だった」と話してくださいました。東日本大震災で多くの命が失われたことを教訓に、NHKでは、命を守るために何が出来るか、調査、検討を続けてきました。その中で分かってきたのが、「身近な人の声が避難を後押しする」ということです。実は、山内アナウンサーは、最初の勤務地が金沢放送局でした。今回被災した能登半島にも何度も取材で行ったことがありと後日、話しています。この時間帯、山内アナがスタジオにいたのは偶然ですが、おそらくかつて取材した人たちの顔を思い浮かべながら呼びかけをしたのだと思います。まさに、このような呼びかけをしよう、という訓練を日頃から繰り返していたのです。

宮崎局では去年の6月、県内の企業や団体の防災担当者を対象に、「命を守る呼びかけセミナー」を実施しました。ポイントは、ここに示している通りです。馴染みの地名や場所を入れる、呼びかける相手を示す、過去の災害を例に出すなど。まだ定期的には実施できていませんが、こうした機会を、今後も設けていきたいと考えています。

【宮崎県出身です】

それでは、ここから、少少だけ自己紹介をしたいと思います。お伝えしています通り、1968年、昭和43年に高鍋町で生まれました。小学校、中学校時代を通じて、6年間野球をしていました。写真は、6年生の時、西都児湯地区の大会で優勝した時の誇らしげな表情です。ポジションはキャッチャーですが、ピッチャー以外はどこでも守れますので、宮崎ロータリークラブで野球の試合をされるときは、ぜひ、お声がけをいただけますと嬉しいです。



テレビ大好きでした。欠かさず見ていたが、TBSの「ザ・ベストテン」。

宮崎ロータリークラブで蘭田副会長にお会いできたのが、私にとって、ロータリアンになった最大の幸せでした。

また、NHKが放送していた科学番組が大好きで、大学4年の頃に見たのが「アインシュタインロマン」です。

【NHKでこんな番組を作ってきた】

NHKに入局してからは、岡山、東京、札幌、東京、福井、東京と転勤をしながら、主に報道番組の制作にあたりました。

写真は、札幌時代、北海道の陸上自衛隊が、東ティモールにPKOとして派遣されることが決まり、その部隊に密着させてもらったときのものです。

下の写真は、ランニング番組「ランXスマ」で、横浜マラソンを撮影したときのものです。

ランニングブームが一気に広がっていた時期で、私が担当を離れた直後ですが、青島太平洋マラソンも紹介させていただきました。

ジャンルは多岐にわたっています。その中で、認知症、介護という文字が並んでいますが、この分野は、こだわって制作してきました。

なぜ、認知症に関心を持つようになったのか？それは、1994年の11月、アメリカのレーガン元大統領が「アルツハイマー宣言」を出したというニュースがきっかけでした。

当時、岡山県内にある介護施設や、老人病院を取材して、グループホームの開設を目指す動きがあることを知りました。

こうした環境を社会が提供しているのか、というメッセージを込めた番組となりました。

私が、番組作りで大切にしてきたことは、良く知ること、耳を傾けて、よく観察する、そして信頼関係を築きながらも適度な距離感を保つこと、そんなことを考えながら作ってきました。

【地域密着を目指して】

最後に、去年7月に宮崎放送局に来ましたが、今は、地域に根差して、地域に密着した放送を届けていくのが最大のミッションです。

攻めているのはタイトルだけではなく、内容も含めて、地域の皆さまに刺さる情報を届けていきたいと思います。

今後ともひきつづき、よろしくお願いたします。ご清聴いただき、ありがとうございました。

宮崎ロータリークラブ新会員卓話 NHK宮崎放送局 原 淳

能登半島地震から1か月 2024年1月1日午後4時10分 最大震度7

能登半島地震から1か月 南海トラフ巨大地震 “自分事”として備えを

能登半島地震から1か月 命を守る呼びかけ URL: NHKアナウンサーの命を守る「防災の呼びかけ」-NHK



5 宮崎県出身です

6 NHKで制作してきた番組

7 NHKで制作してきた番組

8 なぜ認知症に関心を持ったか

9 なぜ認知症に関心を持ったか

10 NHKで番組を作るということ

11 NHKで番組を作るということ

12 番組作りとは・・・

13 地域密着を目指して

14 地域密着を目指して

15 宮崎で仕事をして、感じていること・・・

16 地域密着を目指して



■ 新会員卓話



新会員卓話

(株)SYSKEN 宮崎支店長
本田 久士 会員

皆様、こんにちは。

本日、貴重なお時間を頂き、新入会員卓話をさせて頂く株式会社SYSKEN宮崎支店の本田です。卓話内容としましては、自己紹介をより詳しくと、会社の紹介を少しの構成となっております。どうぞ宜しくお願い致します。

自己紹介

出身は 熊本県阿蘇郡高森町
家族構成 妻 大分県別府市 とともに55才の結婚30年目
両親とも元気

ここで高森町の紹介を致します。

- 本町は熊本県の最東端にあり、東部は宮崎県西臼杵郡、東北部は大分県直入郡と竹田市に隣接しています。人口5934人(2023.12末) 10年前7071人(2013.4)▲1137人(過疎化が進んでいる地域)
- 熊本地震から一部運行となっていました、昨年の7月に南阿蘇鉄道の全線開通となりました。写真はトロッコ列車のゆうすげ号です。
- 次の高森町の紹介は湧水トンネル公園です。旧国鉄高森線と高千穂線を結ぶ工事が昭和48年12月から着手されました。しかし昭和50年2月、突然トンネル工事で大量の出水に見舞われ、その後も度々重なる出水事故が発生して中断となり、その結果、今は高森町の貴重な水源地となっています。トンネルの長さは2,055メートル。常時毎分32トンの湧水量があります。それ以降、中断されたトンネルを観光地として湧水トンネル公園が出来ました。

- トンネル内に飾られている造り物ですが、後継者不足等もあり、昨年も役場からの要請で父がおにぎり弁当を持って造り物の指導に行っています。
- 次は夏のお祭り(風鎮祭)です。造り物であったり、高森にわか(即興的な寸劇)あり、花火ありの田舎ならではのお祭りとなっています。
- 高森中剣道部は昨年、全国制覇を成し遂げました。10年ぶり5回目。
- 高森高校においては、昨年4月に公立高校初となるマンガ学科が新設されました。それまでは定員数割れが続き、中々厳しい状況(定員80名に対し20名)でありましたが、町と企業の後押しもあって、マンガ学科については定員40名に対し1.8倍となっております。
- 次に出身高校についてです。中京商業高等学校(岐阜県)です。よく間違われやすい出身高校については、愛知県と岐阜県の中京高校の校名の変更について説明(出身有名人プロスポーツ選手等)出身高校はとよく聞かれましたが、岐阜の中京と答えています。
- 出身大学は熊本工業大学、現在は崇城大学。当時は男子学生がほぼほぼで、女子学生はわずかでしたが、現在の崇城大に変わってからは女子学生の比率も上がってき

ている状況です。

・SYSKENでの経歴については熊本⇒大分⇒福岡⇒大分⇒宮崎⇒鹿児島⇒熊本⇒大分⇒熊本⇒宮崎となり累計9回の宮崎県勤務は2回目となります。

・趣味について(剣道)

剣道を振り返り

中学から始めた剣道、高校、大学及び社会人となり2年間まで稽古に励んでおりましたがそれ以降の27年間は仕事等理由に稽古から遠ざかりの休止状態でした。

51歳に稽古再開するわけですが、きっかけは恩師及び大学の諸先輩方の温かい言葉と実家に帰った時、剣道現役時代に使用していた防具をカビ1つなく保管されていたのを見た時です。剣道を今までの自分と振り返れば、恐らく自分から逃げていたと思います。反省です。

宮崎に着任してから稽古環境を探しておりましたが、御縁があって今は鵬翔高校と宮崎産経大の合同稽古に週1~2回稽古をしています。

今後の目標としては、70歳代で7段昇段です。

剣道の理念及び剣道修練の心構え、剣道指導の心構えを理解し剣道愛好家として、修練していきます。

コロナ禍での稽古ですが、ルールも変わり今でもマスク、マウスガードを着用し稽古実施。

コロナ禍においては尾身先生(剣道四段)を見かけなかった事はありませんでしたが、剣道雑誌に掲載されていた内容では、稽古が出来ないとのこと。

最後に少しSYSKENの紹介をさせて頂きます。

今年で創業70周年を迎えています。

また、建設業界悩みでもある採用問題と少しでもこの業界を知っていただくため、毎年継続して、インターシップの受け入れや出前研修を実施しています。

TVerでのCMも実施しています。

ご清聴、ありがとうございました。

今後も、よろしくお願いいたします。

1 自己紹介

本田 久士 (熊本県阿蘇郡高森町出身 55歳)
妻：本田 美紀 (大分県別府市出身 55歳)
結婚30年目

【経 歴】
小・中学校まで高森小・中学校
1987.3：中京商業高等学校卒 (現：中京高等学校) 岐阜県岐阜市
1991.3：熊本工業大学卒 (現：崇城大)
1991.4：西日本システム建設(株)入社 (現：株SYSKEN)
入社 3 2 年
2020.5：株SYSKENグループ会社のDenzaiへ出向
2023.5：株SYSKEN 宮崎支店

【趣味】
読書(歴史) ゴルフ(趣味)

2 高森町の紹介-1

熊本県 高森町
高森町(阿蘇郡)人口5,934人

本町は熊本県の最東端にあり、東部は宮崎県西臼杵郡、東北部は大分県直入郡と竹田市に隣接しています。人口5934人(2023.12末) 10年前7071人(2013.4)▲1137人(過疎化が進んでいる地域)

熊本地震から一部運行となっていました、昨年の7月に南阿蘇鉄道の全線開通となりました。写真はトロッコ列車のゆうすげ号です。

次の高森町の紹介は湧水トンネル公園です。旧国鉄高森線と高千穂線を結ぶ工事が昭和48年12月から着手されました。しかし昭和50年2月、突然トンネル工事で大量の出水に見舞われ、その後も度々重なる出水事故が発生して中断となり、その結果、今は高森町の貴重な水源地となっています。トンネルの長さは2,055メートル。常時毎分32トンの湧水量があります。それ以降、中断されたトンネルを観光地として湧水トンネル公園が出来ました。

トンネル内に飾られている造り物ですが、後継者不足等もあり、昨年も役場からの要請で父がおにぎり弁当を持って造り物の指導に行っています。

次は夏のお祭り(風鎮祭)です。造り物であったり、高森にわか(即興的な寸劇)あり、花火ありの田舎ならではのお祭りとなっています。

高森中剣道部は昨年、全国制覇を成し遂げました。10年ぶり5回目。

高森高校においては、昨年4月に公立高校初となるマンガ学科が新設されました。それまでは定員数割れが続き、中々厳しい状況(定員80名に対し20名)でありましたが、町と企業の後押しもあって、マンガ学科については定員40名に対し1.8倍となっております。

次に出身高校についてです。中京商業高等学校(岐阜県)です。よく間違われやすい出身高校については、愛知県と岐阜県の中京高校の校名の変更について説明(出身有名人プロスポーツ選手等)出身高校はとよく聞かれましたが、岐阜の中京と答えています。

出身大学は熊本工業大学、現在は崇城大学。当時は男子学生がほぼほぼで、女子学生はわずかでしたが、現在の崇城大に変わってからは女子学生の比率も上がってき



3 高森町の紹介-2

公立高校 日本初
マンガ学科新設!!

4 よくある質問

■間違われやすい出身高校について

学年	1923	1947	1963	1967	1995	2001	2017
愛知	中京商業学校	中京商業高等学校		中京高校	中京大学附属中京高校		
岐阜			中京商業高等学校	中京商業高等学校		中京高校	中京商業高等学校

2020.4 →中京高等学校

愛知：梅村学園(創立者：梅村清光)
岐阜：安達学園(創立者：安達勝雄) 梅村清光の次男

愛知：安藤美穂 浅田真央 村上佳菜子 小塚崇彦 宇野昌磨(フィギュアスケート)
望林翔太 福原舞(フィギュアスケート) その他多数 合計195人(全国9位)

岐阜：橋本真也(プロレス) 実井謙二郎(マラソン選手、アスリート) 松田尚彦(大相撲力士)
田中恒成(プロボクサー) その他 合計27人(全国159位)

5 熊本工業大学 → 崇城大学

熊本工業大学	崇城大学
【工学部】 ・電子工学科 ・電気工学科 ・機械工学科 ・建築工学科 ・土木工学科 ・構造工学科 ・応用生物工学科	【工学部】 ・機械工学科 ・電気・電子工学科 ・建築工学科 ・航空宇宙システム工学科 【情報学部】 ・情報工学科 【生物生命学部】 ・動物生命工学科 ・動物生命科学科 【芸術学部】 ・芸術工学科 ・デザイン工学科 【薬学部】 ・薬学科

男女比率 男子比率 61.8% 女子比率 38.2%

6 (株)SYSKENでの経歴

■1923.04.01～(1991.04.01)：入社
① ■1923.04.01～(1991.04.01)：大分支店、副社長
■1947.04.01～(2002.04.01)：福岡支店、福岡支店副社長
■1963.04.01～(2004.04.01)：中京支店、中京支店副社長
■1967.04.01～(2009.04.01)：岐阜支店、岐阜支店副社長
■1995.04.01～(2001.04.01)：中京支店、中京支店副社長
■2001.04.01～(2017.04.01)：中京支店、中京支店副社長
■2017.04.01～(2023.04.01)：宮崎支店、宮崎支店副社長
■2023.04.01～(現在)：宮崎支店、宮崎支店副社長

7 剣道を振り返ると...

現在稽古場
高崎県：鵬翔高等学校・宮崎産経大学の合同稽古に夢加週1~2回

今後の目標
四段 五段 六段 七段

8 剣道

剣道の理念
剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である

剣道修練の心構え
剣道を正しく真剣に学び
心身を鍛錬して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとうとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修業に努め
以て国家社会を豊かに
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

9 剣道

剣道指導の心構え

竹刀の本意
剣道の正しい出来と形のため、剣の理法に基づき竹刀の扱いの指導に努める。

剣道は、竹刀による心気力一致を目指し、自己を鍛錬していく道である。竹刀という剣は、相手に刺さる剣であるが同時に自分に刺さる剣でもある。この剣を操る竹刀の心気力一致を指導の要諦とする。

礼法
礼法は人を敬ぶ心、心構えを人間の尊厳のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場において礼法を重んずる。お互いを敬う心で「礼法」の礼法指導によって、礼法ある生活態度を身に付け、「文武両道」の輪を築いていくことを指導の要諦とする。

生徒指導
剣道を学び、安全・健康、運動シフ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を隔てて学び合う道である。「礼法を通じて」礼法を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命を育み、心身ともに成長を遂げていくことを指導の要諦とする。

10 コロナ禍での剣道

剣道四段

11 SYSKENの紹介①

創業70周年

【企業理念】
「最大の誠意」
「最良の技術」
「最高の品質」
により社会の発展に貢献する

【行動指針】
私たちは
一、勤業と工夫によりプロフェッショナルを目指します
一、お客様へ期待を上回る価値を提供します
一、万全の準備と細心の注意により事故0を目指します
一、日々の改善とチーム力によりコスト削減を図ります
一、コンプライアンスを徹底し先導として活動します

12 SYSKENの紹介②

インターンシップと出前授業
TVer CM中

Rotary 第2730地区
宮崎ロータリークラブ

- 本年度(2023~2024)宮崎ロータリークラブの目標
- 国際ロータリー第2730地区 地区大会をホストクラブとして開催
 - 池ノ上克ガバナーの活動支援
 - 青島太平洋マラソン3キロの部 復活開催
 - 会員数100名以上の堅持と女性会員の増強
 - 例会出席率90%以上の確保
 - ロータリー財団寄付一人あたり100ドル以上
 - 米山奨学会寄付一人あたり10,000円以上

- <会 長> 岡本 俊則
<副 会 長> 藺田 潤子
<幹 事> 藺田 有美
<会報委員会> 福松 修一郎
- 例会日/毎週火曜日(12:30~13:30)
■例会場/宮崎観光ホテル(☎27-1212)

